



# あしがら

「学校生活振り返り結果」号

令和4年3月15日

「学校生活の振り返り」に御協力いただき、ありがとうございました。教職員や学校評議員の皆様と振り返り結果を分析しましたのでお知らせします。

## 児童

### (1) 達成率が高い項目

- ・自分の目標（学習や運動）に向かってがんばっている・・・97%
- ・学年目標を意識して生活している・・・95%
- ・進んで気持ちの良いあいさつができる・・・95%
- ・係活動・委員会活動・奉仕活動がんばっている・・・95%
- ・交通安全や不審者に気を付けて登下校している・・・95%
- ・学校の勉強がわかる・・・92%

子どもたちは、学年や自分の目標達成にがんばっています。また、学校や学級をよくしようと、係活動や委員会活動に真面目に取り組んでいます。感染症拡大防止のため学校内の活動が制限される中で、自分にできることを考え行動しようとしています。

### (2) 評価が低い項目

- ・授業中、友達の話聞き、自分の考えを発表できる・・・80%
- ・進んで本を読んでいる・・・82%
- ・学校の話家族にしている・・・82%



## 保護者

### (1) 達成率が高い項目

- ・学校は各種たよりで、子どもたちの様子を家庭に伝えている・・・100%
- ・学校教育目標をみて本校の目指す子ども像がわかる・・・98%
- ・電話・連絡帳・たより等を通し、担任と連絡を密にとることができている・・・98%
- ・うちの子は、学校の授業を理解している・・・97%
- ・重点目標を意識した学校教育がなされている・・・98%
- ・集団登校や仲よし班活動など、異年齢集団での交流が図られている・・・97%
- ・学校は、交通安全や事故防止に適切に取り組んでいる・・・97%
- ・教職員は子どもたちを大切にしている・・・94%

少人数のよさを生かし、一人一人の表れを丁寧に見取ると共に、個々に話す時間（ふれあいトーク）を活用して、子ども理解に努めます。また、本読みカードやホームページで、学校での表れを家庭に伝えていきます。学校と家庭が協力しながら、どの子にも社会に出たときに必要な力を付けていけるようにします。

### (2) 評価が低い項目

- ・うちの子は、読書をしている・・・66%
- ・うちの子は、相手を意識した挨拶ができる・・・77%
- ・うちの子は、家庭学習をしている・・・75%
- ・うちの子は、時と場に応じた正しい言葉づかいができる・・・74%



## 教職員

- (1) 100%の達成率を示した項目が、20項目中15項目ありました。
- (2) 達成率の低い項目
  - ・子どもたちは進んで気持ちの良い挨拶をしている・・・82%
  - ・子どもが進んで体力作りできるよう支援している・・・86%



### ◎学校評議員会より

- ・ゲームやテレビなど、気軽に見られることができるものを楽しみがうつっている。学校での読書の時間はこれからも続けてもらいたい。
- ・教職員、保護者、子どもが、挨拶や言葉遣いに関心があることは、大切なことである。言葉は時代と共に変化しているが、きれいで美しい日本語は失いたくない。

### ◎改善策

#### (1)「進んで本を読んでいる」 児童 「うちの子は読書をしている」 保護者

今年度は、読書時間の確保に努めました。来年度は、読書時間の充実を図ります。朝活動や仲よし班活動で、おすすめの本を紹介したり、読み聞かせをしたりして、友達とかかわりながら本とふれあう場を設けます。さらに、学校内の読書活動を家庭に知らせたり、アウトメディア週間を活用したりして、家庭での読書活動も進めていきます。

#### (2)「授業中、友達の話聞き、自分の考えを発表できる」 児童

互いの考えを伝え合いながら学びを深める授業づくりを進めます。また、学びを支える基礎基本の定着を図ります。学ぶ君タイムを継続すると共に、長期休業前にプリントでその学期の復習をし、新学期に同じプリントに取り組むようにします。教師は個々の学習内容の定着度を把握し授業づくりに生かします。家庭には面談等で定着度を知らせ、子どもはつまづいている部分を休業中に復習するようにします。年間を通して、このサイクルで基礎基本の定着を図っていきます。

#### (3)「子どもが進んで体力作りできるよう支援している」 教師

全校で運動に取り組む時間を設定します。走る、投げる、跳ぶ、といった運動を取り入れ、どの子どもも楽しく体力作りができるようにします。また、体育の授業、運動会やマラソン大会では、一人一人が目標に向けて努力できるよう、活動内容を工夫し、個に応じた声掛けや助言をします。

#### (4)「うちの子は、家庭学習をしている」 保護者

家庭学習の内容を理解してもらうために、基本的な内容を学校全体で揃えます。(本読み・読書・漢字・計算・作文)。高学年は、自主勉強を取り入れたり、計画表を活用したりして、自主的に学ぶ力を付けていくようにします。引き続き、子どもの学校での様子を本読みカードに記入し、どんな学習をしているか、子どもがどんなことをがんばっているのかを家庭に伝えていきます。

#### (5)「うちの子は、相手を意識した挨拶ができる」 保護者

##### 「子どもたちは、進んで気持ちのよい挨拶をしている」 教員

「おはようございます」「こんにちは」だけでなく、「ありがとう」や「ごめんなさい」といった挨拶は、コミュニケーションを円滑にします。このような挨拶の大切さを伝えると共に、教師も子どもも積極的に学校内で使っていきます。また、来客には会釈するなど、いろいろな場に応じた挨拶ができるよう指導します。

#### (6)「うちの子は時と場に応じた言葉遣いができる」 保護者

時と場に応じた言葉遣いに対する意識を高めるために、まず、教師自身が模範となる意識を持ちます。その上で、子どもたちが行き過ぎた乱暴な言葉遣いをした時は、その場で言い直しをする指導を継続します。また、丁寧な言葉遣いできた時は、その場で褒めたり、全体に紹介したりして広げていきます。